道内の木材需給の見通し（令和7年12月調査分）

－令和8年2月公表－

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

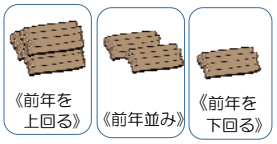
原木在庫・製品荷動き

前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

	《10～12月》	《1～3月見通し》	
トドマツ			○ 製材、合板工場の「原木在庫」は前年並みとなっており、1月以降は前年を下回る見通し。
			○ 製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年並みとなっており、1月以降は前年を下回る見通し。
カラマツ			○ 製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、1月以降は前年を大きく下回る見通し。
			○ 製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年並みとなっており、1月以降は前年を下回る見通し。

《凡　例》

《原木在庫》



《製品荷動き》

素　材　生　産　動　向

前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

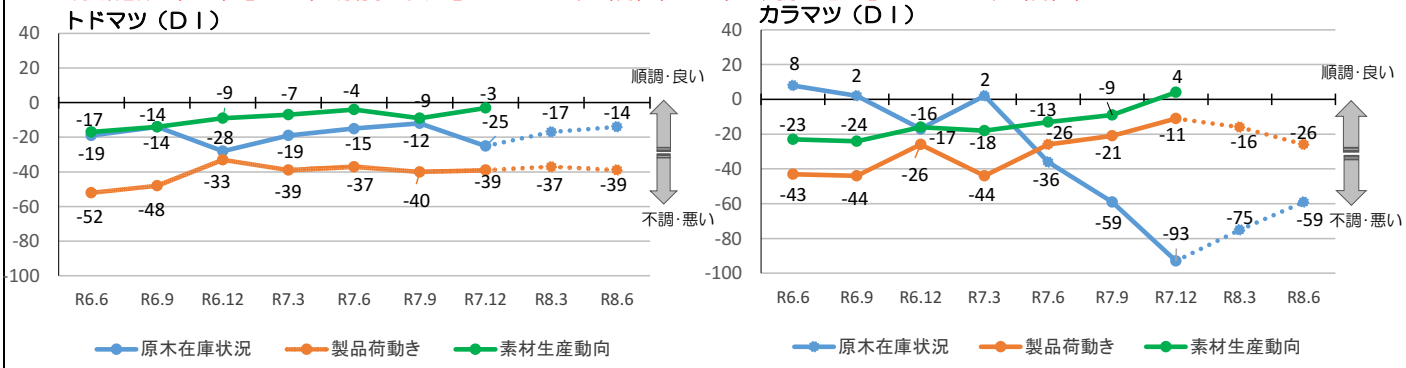
	《10～12月》	《1～3月見通し》	
トドマツ			○素材生産動向は、「順調」11%、「並み」70%、「不調」19%となっており、並みの見通し
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」23%、「並み」61%、「不調」15%となっており、並みの見通し

《凡　例》

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同期と比較した判断指数　※点線は今後の見通し

※「判断指数（ＤＩ）」＝（「順調・良い」とした比率（%））－（「不調・悪い」とした比率（%））

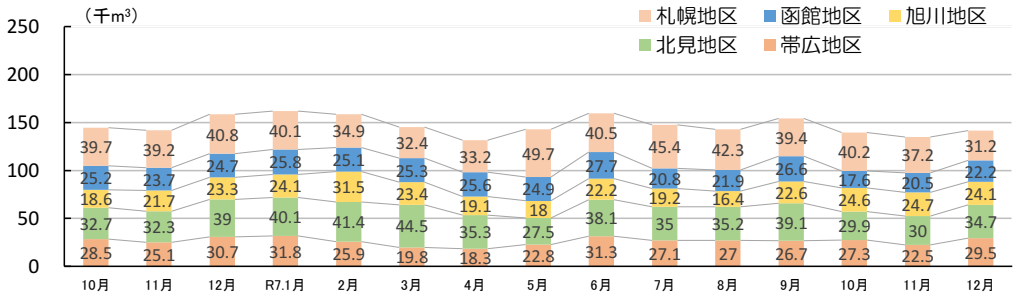


《参　考　情　報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素　材　生　産　量　の　推　移

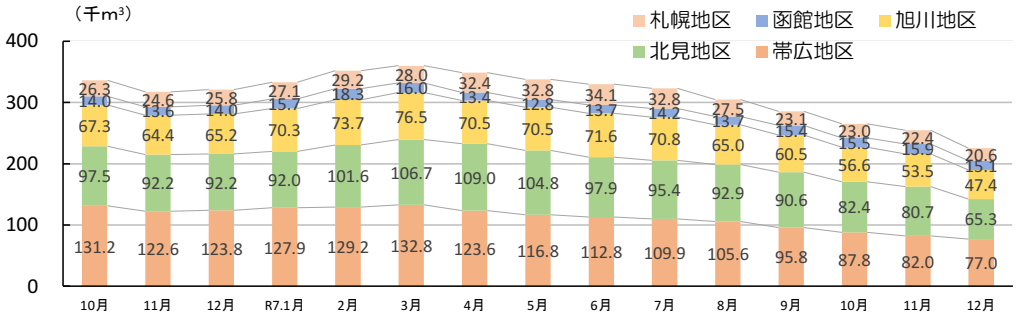
・12月の素材生産量は先月比6.8千㎥増の141.7千㎥
・１月の素材生産量は、15.9千㎥増の157.6千㎥の見通しで、札幌地区、旭川地区、北見地区で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

・12月のトドマツ原木在庫量は前年同月を下回り、原木消費量は前年同月並みの見込み
・12月のカラマツ原木在庫量は前年同月を大きく下回り、原木消費量は前年同月を若干下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR7.10～12月は速報値でエゾマツを含む

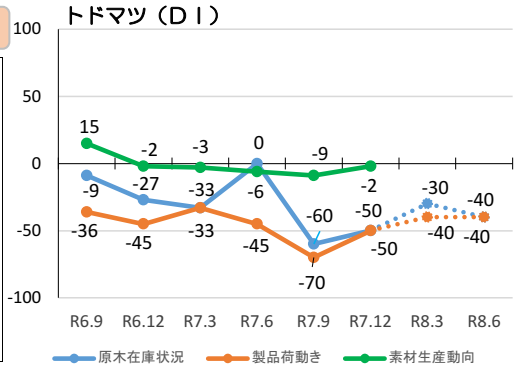
素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI（地区別）

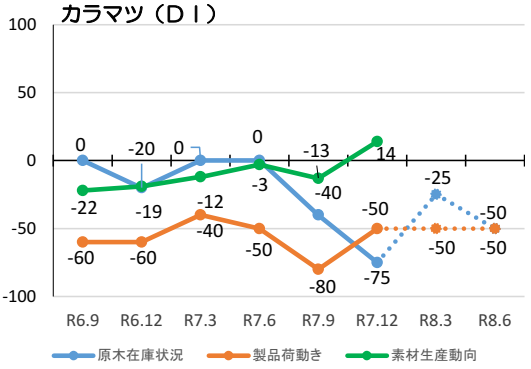
○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数　※点線は今後の見通し
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

札幌地区（石狩･空知･胆振･日高）

【トドマツ】
- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、順調の見通しに回復
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きも前年を大きく下回る見通し

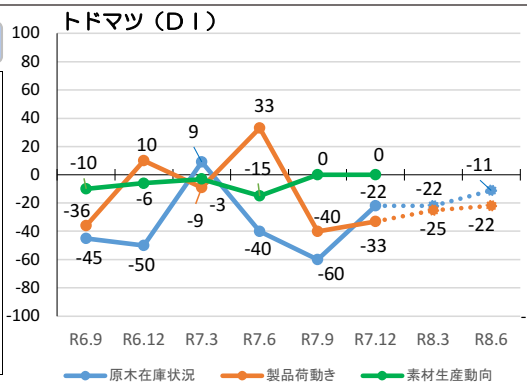


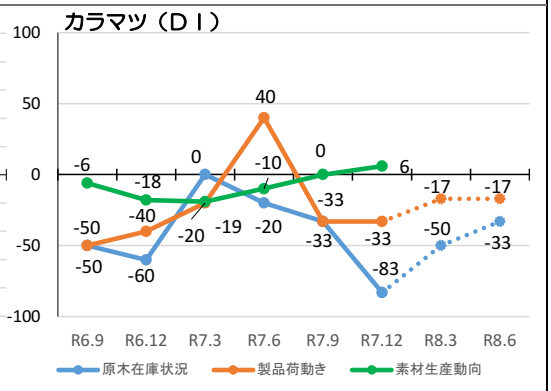


函館地区（渡島･檜山･後志）

【トドマツ】
- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

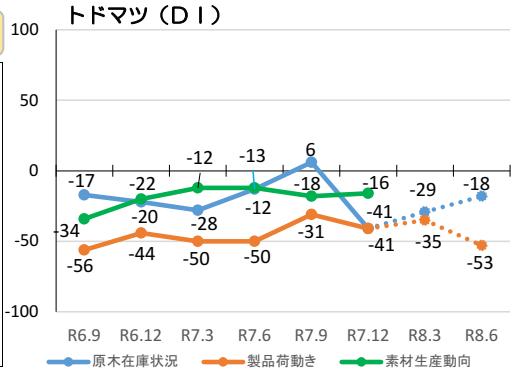


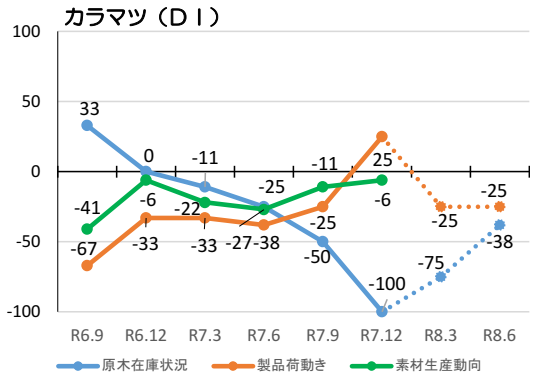


旭川地区（上川･留萌･宗谷）

【トドマツ】
- 素材生産は、引き続き不調の見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、並みの見通しに回復
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きも前年を若干下回る見通し

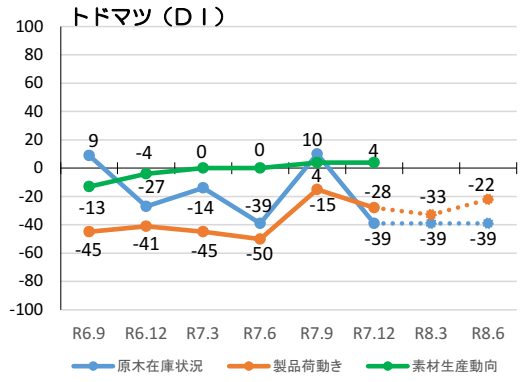


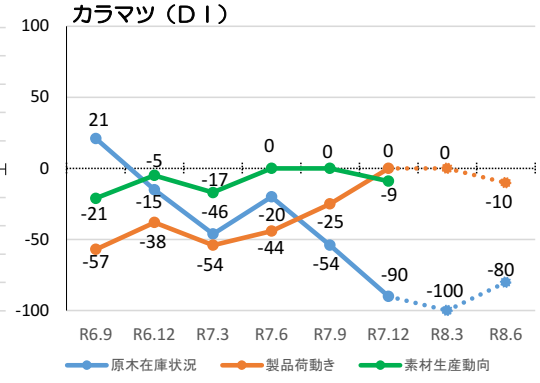


北見地区（オホーツク）

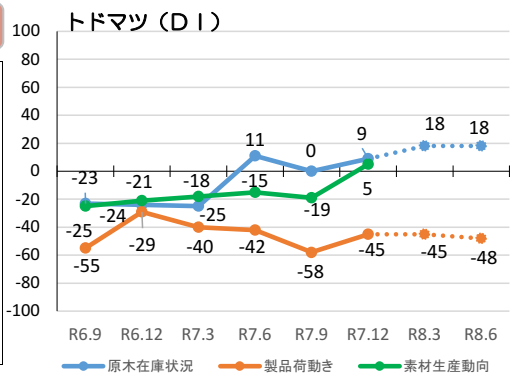
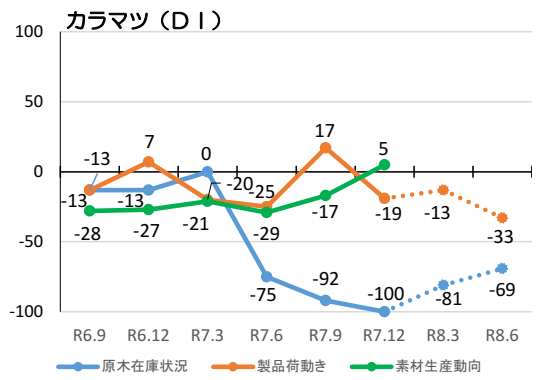
【トドマツ】
- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、不調の見通しに下降
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年並みの見通し





帯広地区（十勝･釧路･根室）

【トドマツ】
- 素材生産は、並みの見通しに回復
- 原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、並みの見通しに回復
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し